

北方四島交流事業実施時の様子



四島訪問前の出発式の様子



根室港出港時の様子



船内食堂兼集会室での勉強会の様子



色丹島・六洞湾での船の様子

北方四島交流事業とは

北方領土問題が解決するまでの間、日本人と北方四島在住ロシア人との間の相互理解を深め、この問題の解決に寄与するために、1992年からパスポート・ビザなしで行われている相互訪問事業です。



国後島での文化交流の様子

北方四島交流等事業使用船舶

「えとぴりか」



「えとぴりか」とは

北方四島との交流や北方領土元島民の故郷へのお墓参り等のために政府の方針により建造され、2012年から使用されている船です。

各島への航行時間





4階 デッキ



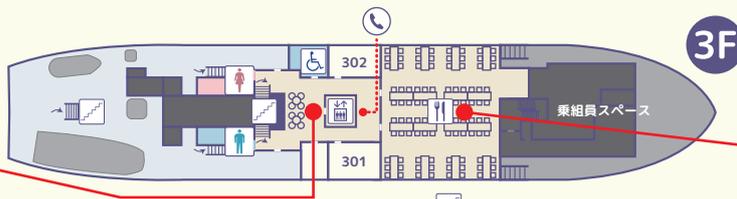
4F



操舵室



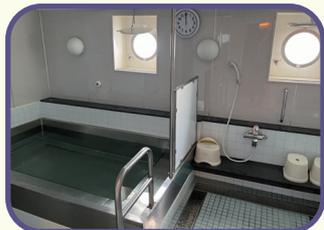
3階 エレベーターロビー



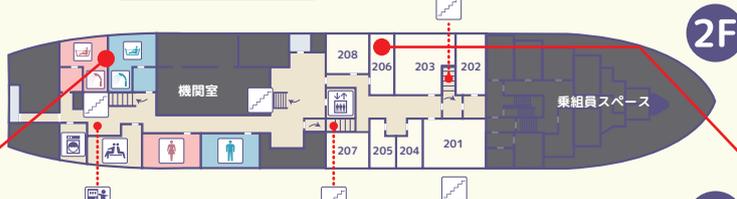
3F



食堂兼集会室



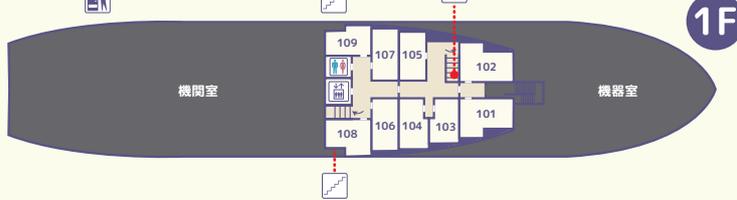
浴室



2F



客室 (4人部屋)



1F



船名の「えとぴりか」は全国の皆さんからの公募で決まりました

北方四島と北海道本島を自由に行き来する海鳥「エトピリカ」の姿が交流等事業のイメージと重なることから名づけられました

「えとぴりか」基本情報

総トン数	1,124トン	旅客定員	84名
航海速度	15ノット	全長	66.51m
幅(型)	12.80m	深さ(遊歩甲板)	6.80m
主機関	ディーゼル機関	満載喫水(型)	3.30m